

「2025年3月ダイヤ改正について」提案を受ける！

8. 主な労使議論

その②

組合：ダイヤ改正の目的を明らかにすること。

会社：お客さまのご利用状況に合わせたダイヤの見直しを行い、混雑緩和や利便性向上を図るほか、サステナブルな鉄道事業を実現する。常磐線では土休日のご利用が多い時間帯に運転本数を増やし利便性を向上する。また一部列車の運転区間変更による利便性向上と輸送力適正化を実施する。水戸線では小山駅発の終電時刻繰下げ、常磐線・水郡線ではワンマン運転の拡大を実施し、常陸大子駅～郡山駅間は終日ワンマン運転となる。

組合：浜通りエリアの業務の見直しを行う理由を明らかにすること。

会社：原ノ町統括センターの全ての車掌業務をいわき統括センターへ集約することで、効率的な業務執行体制の構築や水戸駅～仙台駅間での乗務行路作成等が行うためである。

組合：今回の提案資料では、列車設定キロ現改比較の表の変更や、これまで提案資料として車両配置や保守間合い現改比較が参考資料にした理由を明らかにすること。

会社：他支社との調整や施策の内容を示すために変更した。

組合：回送列車の増加が多い理由を明らかにすること。

会社：E501系10両1編成廃車に伴い、E531系5両で水戸駅～いわき駅間を運転する。輸送力確保のために321Mを日立駅まで、1187Mは高萩駅まで延長運転を行う。折り返しが回送列車となることや勝田車両センターで修繕を行うために勝田駅～いわき駅間で1往復回送列車が増加するためである。

組合：水郡線ワンマン列車で必要な場合に限り、全車扱い(全ドア開扉)の実施を行う理由を明らかにすること。

会社：予期せぬお客さま混雑で後方車両から前方車両にお客さまが移動できない際、運転士判断で全ドア開扉できるようにする。扱った際は運転士が指令に報告する取り扱いを行う。

組合：乗務員の整理時間の見直しについて内容を明らかにすること。

会社：2024年度6月より異常が無ければ「異常なし」の口頭伝達に取り扱いを変更した。水戸支社では状況を見守り、運転士及び車掌の整理時間を2分削減することを2026年3月ダイヤ改正で実施する。

組合：乗務員の車内貫通作業拡大について明らかにすること。

会社：運転士は高萩駅・下館駅・小山駅で車内貫通作業を拡大する。車掌は日立駅で車内貫通作業を拡大する。

組合：各箇所の運転士と車掌、現行と改正の行路数を示すこと。

		現行		改正	
		勤務	日勤 泊まり	日勤 泊まり	
土浦統括センター	運転士	5	18	5	18
	車掌	2	14	3	13
水戸統括センター	運転士	3	13	3	13
	車掌	1	3	1	3
勝田統括センター	運転士	6	21	5	23
	車掌	2	15	1	15
いわき統括センター	運転士	5	11	5	12
	車掌	3	4	3	7
原ノ町統括センター	運転士	4	7	4	6
	車掌	1	3	0	0
水郡線統括センター	運転士	5	5	5	4
	車掌	4	1	3	1



JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！